

令和2年度 第1回 大槌町デイサービスセンターはまぎく運営推進会議報告書

開催日時	令和2年10月16日（金） 午後2時～2：30
開催場所	大槌町デイサービスセンターはまぎく
出席者	・利用者家族代表 1名 ・地域住民代表 1名 ・知見者 1名 ・地域包括支援センター 欠席 ・事務局 3名
<p>【協議内容】</p> <p>1. 活動状況報告</p> <p>1) 利用者実績 2) 行事・レク活動 3) ボランティア団体の受け入れ状況 4) 事故発生の状況報告 5) 職員研修の実施状況 6) 課題など</p> <p>2. その他</p> <p>【活動状況報告】（事務局より）</p> <p>1) 利用状況について</p> <p>前年度より、延べ利用回数が月平均30回減少している。背景に、利用者の体調急変からなる長期入院の他、コロナ禍による影響で新型コロナウイルス発生県に住む家族との接触により、2週間の自宅待機となった利用者が毎月複数いた。この中には週に複数回定期利用している方もおり、利用実績に大きく影響された。</p> <p>要支援者の新規登録者数が増え、平均介護度も昨年度より下がっている。</p> <p>2.) 行事、レク活動について</p> <p>例年、春になるとお花見ドライブを行っていたが、コロナ禍の影響により外出を控えた。利用者にとっては、自宅にばかりいてどこかに行きたいという声が聞こえる。これから紅葉が見ごろになると思うので、ドライブだけでも連れていければと検討している。</p> <p>前年度のアンケート調査結果を踏まえ、レク活動内容のマンネリ化防止に創作活動を増やしている。また、6月に実施した大雨災害による避難訓練を受けて、日頃から、防災に関する意識化を図ろうと災害時に役立つ勉強会と題し、簡易マスクや簡易スリッパ、非常用ランプの作り方や応急処置などの勉強会を取り入れた。</p> <p>3.) ボランティアの受け入れ状況について</p> <p>新型コロナウイルス感染防止の観点から、毎月慰問されていた各ボランティア団体、七夕会や敬老会と言った行事に協力を仰ぐ各ボランティア団体に訪問していただくことが出来なかった。</p> <p>4.) 事故発生の状況について</p> <p>介助中による転倒事故2件、見守り中の転倒事故1件、入浴中のヒヤリハットが1件。</p> <p>今年度は、介護未経験の職員が2名配置された。不慣れを原因とする事故があったことから、</p>	

都度に話し合い、次に生かされるよう指導している。

5.) 職員研修の実施状況

今年度は、コロナ禍の影響により上半期の研修案内がなかった。9月頃から徐々に研修案内が始まったので、別紙報告書のとおり研修に参加させている。今後も、感染対策を継続し、必要な研修には随時参加させたい。

6.) 課題について

新規利用者の減少と利用延べ人数の減少

【委員からの質問・意見等】

知見者) = 今年度は、色々な意味で我慢の年である。

地域住民代表) = 白沢、寺野、三枚堂地区の住民世帯が増えたことで、役員間の交流を図る為、紙芝居と演劇を交えた活動を始めた。活動にはかなりの人数が必要で調整は難しいが、はまぎくでもいつか披露したいと考えている。

【その他について意見】

特になし